

# 菊陽人 りさーち



はしもと かいじ  
**橋本 海士さん (8歳)**  
[南八久保]

- 趣味 少林寺拳法
- 今後の目標 少林寺の大会で金メダルをとる!
- 自分を一言で表すと 頑張り屋さん
- 家族に伝えたいこと 何でもお手伝いするよ!

「菊陽人りさーち」に掲載を希望される人は、はがきに「氏名」「年齢」「住所」「連絡先(昼間)」を明記のうえ〒869-1192菊陽町役場総合政策課「菊陽人りさーち」係までお送りください。  
注)掲載対象は、小学生以上で菊陽町に居住している人に限ります。親子、祖父母と孫など2人1組での掲載もできます。掲載が決まりましたら、こちらからご連絡させていただきます。



のほら あやの  
**野原 綾乃さん (11歳)**  
[花立]

- 将来の夢 バドミントンの選手
- 自分を一言で表すと やんちゃ
- 自慢 短距離走が得意
- 今一番やりたいこと ディズニーランドに行ってみたい!

# ゆたかな心をはぐくむ 人権のひろば

子どもの目、子どもの声  
人権  
作文シリーズ  
【No.28】

自分を見つめ「私はあきらめません」と結ばれた言葉や、家族を見つめその絆の深さに気づく文面に作者の成長が強く映し出されています。年齢に関係なく成長を続けなくてはと思います。  
\*◇印は担任のコメントです。  
\*作者の学年は前年度の在籍学年となります。

問い合わせ  
人権教育・啓発課  
☎232-2113

見た目で「わいとときめつける」といけないと思う

「おにさんへ」  
菊陽中部小学校 3年 西光 蓮

私は、おにさんのように、一年生の遠足のとき、まだ友だちがいなくてさびしい思いをしました。その時は心細かったからおにさんの気持ちはよく分かります。今までの私だったら、村人のように見た目がこわいからと追い出していたかも知れません。でも、今の私はおにさんとなかよくくらすと思います。おにさんの勉強をして、おにや人も見た目がこわいからって、中身もこわいと決めつけるといけないと思うからです。



▲授業風景

「わえ。」  
って声をかけただけでも、ピタッと止まるくらいこわがられています。でも、そんなにこわがられても、くじけないで、いけない事はいけないと注意をします。だって、おにさんも、みんなからはじか

れてもいっしょうけんめい南へ南へとあきらめなかつたから、私もあきらめません。◇人を信じて、どこまでも友だちをもとめていくおにさんの姿にれんさんもくじけないでやっていこうという力をもったんですね。

見守ってくれるのが家族です  
おにさんとは、絵本「島ひぎおに」に登場する「おに」のことです。

家族をみつめて  
菊陽西小学校 4年 奥 柚月

私はいつも、お母さんやお兄ちゃんにいやな事を言っています。お兄ちゃんにふざけていやがる事をいったら、すぐケンカになります。また、お母さんには友達みたいにふざけて言ったりします。そんなとき、お母さんは遊びみたいな感じで返してくれます。だけど、多分お母さんは、いやなときもあると思います。いつもお兄ちゃんとケンカをしていた私です。しかし、お兄ちゃんが入院したときに、すぐからだをいたがっているのを見てとても心配になり、早く治らなかなといつも思っていました。  
お父さんが、会社の転ぎんで外国に行ったときとても悲しかったです。お父さんが家にいないのですごくさみしいです。お母さんはわたしたちの前ではなみだを見せませんでしたが、多分お母さん

も私と同じようにさみしかったし、悲しかったと思います。だけど、お母さんは悲しい顔もせず仕事も家の仕事もがんばっています。  
お仕事では、細かい作業を早く正確にしなければなりません。失敗せずにいい品を作るのは、むずかしいと思いました。また、しよく場の人に迷わくをかけるようにしているのはすごいと思いました。家でも、私たちのお世話も、ご飯やせんたくとか、いろいろな家の仕事もしないといけないから、大変なんだなあと思いました。それに、一日一日目標を決めてすごしているからすごいと思いました。  
お母さんはちゃんと私のことを思ってくれています。だから、本当にいやなことがあったら、がまんせず言いたいです。いやなことや不安なことがあったとき、見守ってくれるのが家族です。私はこれからもっと、家族を大切にしていきたいと思っています。  
◇四年生は、親の仕事の様子について聞き取り親のくらしを深く見つめ直しました。また親からの手紙を読み、今の自分に対する親の気持ちを知ることができました。これからも、感謝の気持ちを持って家族や友達を大切にしていきたいと思っています。



▲発表

## きくよう文芸

### 菊陽句会報

父の日や追憶のみを供養とし 里山の狭き通ひ路竹の秋 石南花や漬物十種の昼の膳 ありがとう母の口癖聖五月 翻る葉に添ひゆるる花喜蒲 巻き戻す時あれかしと桐の花 万緑の中や愛大旅立ちらぬ 紫陽花や幸せ色に時流れ 老鶯の声きくいつもの日曜日 日焼顔鉢巻の型くつきりと ポンポンと芳香剂だ蔓れいし アンボイ垣間に過ぐやえこの花	坂本百合子 田中 郁子 井 子文 財津 早雪 原野レイ子 カ 幸子 寺尾千代子 高橋 孝子 堀川 妙子 佐藤 航 佐藤 健 佐藤 節	楽しみは二本のトマト花の数 畑暮るる整列立ちらんば惣坊主 小さき掌に小さきあかり初螢 五月晴師の仮名文字の流れかな 近径や先行く蛇に遠廻り 薫風やさざ波よする潜水田 苦瓜の添竹避けて延びゆけり 髪梳けば乾草匂ふ湯殿かな 麦の穂を乗り継ぐ風の迅さかな 戦争はやめてほしいね水鉄砲 雨気満ちて麦秋の波展げゆく	吉野 早苗 井上久美子 宮川ユキエ 日高 妙子 曾我 育代 曾我トモ子 紫藤 祥子 村上 朋子 野口 令史 松橋 強 佐藤 澄世
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------

### 短歌会

しとしと降りて煙れる梅雨の雨しとしとして聞こえ来るなり  
梅雨に入りて早や四百ミリの多き雨今年はどれだけ降れば気が済む  
地震あれて仮寝の宿の堅床にいかな夢みむみちのく人ら  
雨降りて止む事のなき庭隅に白き紫陽花色褪せてゆく  
幼子は歌って踊って本を読む未来を拓く力あふるる  
咲き出でし梔子の花は雨に濡れ白々として艶やかに見ゆ  
木々写し川面は穏やかに流れゆく中洲の岩に二羽の鷺鳥  
朝霧は流れつつ姿見えずして山鳩の声まろきその声  
道の辺の桑の実含む一つまた一つ恵に触れるこの時

今村 貞子  
梅田 國雄  
河北 幸一  
菊川あさみ  
佐藤せい子  
下田 久子  
中村トシエ  
森 敦子  
山川 カヅ